

令和4年度 岩谷学園アーティスティックB 横浜美容専門学校

学校関係者評価委員会報告書

(令和4年4月～令和5年3月)

1 学校関係者評価委員会実施要項

開催日時	令和5年5月26日(金) 16:00～17:20
開催場所	岩谷学園アーティスティックB 横浜美容専門学校 202教室
参加者	<p>【学校関係者評価委員】</p> <p>松野功明 <関連業界企業> 有限会社サロン ド ポーテ グレース 森本チヅ子 <関連業界企業> 株式会社ラ・ポーテ・アクアボン 相馬理加 <保護者> 三原香美 <保護者> 最上千香 <卒業生> 我妻紗彩花 <卒業生> 鈴木弘文 <地域住民> 松本康二 <地域住民></p> <p>【教職員】</p> <p>鈴木政信 校長 宮田具 教務主任 石崎淳子 教員 古谷聖子 教員 荒木美由喜 教員 芹澤郁子 教員 城下侑季 教員 鈴木幸子 Ai サロン 石井紀代子 本部学生課 課長 手塚朋子 本部学生課 岡田純子 本部学生課</p>
評価期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
評価対象	ビューティスト科、トータルビューティ科
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・実績報告/進路状況一覧 ・学生動向 ・各種資格取得/就職状況報告 ・事業活動収支計算書 ・授業アンケート報告 ・学校自己点検・自己評価表 ・岩谷学園アーティスティックB 横浜美容専門学校組織図

	<p>(参考資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「職業実践専門課程」の認定状況 ・今後の専門学校における職業実践専門課程の充実に向けて（とりまとめ） ・2023 年度美容室就職に関する意識調査
--	---

■ 校長挨拶

校長の鈴木より「新型コロナウイルス」が 5 類移行したこともあり、学校運営も通常に戻りつつある現状報告がなされ、学校関係評価委員会についての説明と委員会参加者についての紹介が行われた

■ 職業実践専門課程認定校について

トータルビューティー科においては、令和 3 年 3 月に職業実践専門課程認定となった。職業実践専門課程認定校についての説明が行われ、来年 3 月 8 日に卒業する学生は「職業実践専門課程専門士」の称号が付与される初めての卒業生となる

2 令和 4（2022）年度の学校事業概要報告

学校行事について	
	<p>4 月 5 日 : 入学式（参加者：新入生のみ、保護者列席なし）</p> <p>4 月 27 日 : 避難訓練（一時避難場所までの避難経路の確認を含め実施）</p> <p>5 月 16 日 : ビューティーワールドジャパン（日本最大級のディーラー、メーカー出店の展販売会にて業界の最先端を学ぶ）</p> <p>5 月 18 日 : 健康診断（健康の状態の確認・疾病の早期発見、予防・改善）</p> <p>7 月 14 日 : 芸術鑑賞会（劇団四季による劇の観劇をとおして、芸術的な感性を養う）</p> <p>7 月 22 日 : 学生競技大会（関東地区大会）（関東地区における理美容競技大会）</p> <p>9 月 3 日 : 作品発表会（2022 年度作品発表会「REBOOT」をテーマに校内にて実施）</p> <p>9 月 3 日 : 作品展示（モデルウィッグ・モデルハンド・モデルマスク等を使用した作品制作発表）</p> <p>9 月 30 日 : マナー研修（シエラトンホテルにてテーブルマナーを学ぶ）</p> <p>10 月 31 日 : ネイル EXPO(国内最大級のネイル業界イベント。商材から技術まで最先端を学ぶ)</p> <p>3 月 10 日 : 卒業式（学生 1 名につき保護者 1 名列席）</p> <p>● コロナ禍の影響もあり、積極的に外へ出向くことができない中でありながらも、行動範囲を神奈川県内とどめるなどの工夫をしながら行事を実施した。前年度よりは大人数イベントが再開され参加することができた</p>
教育交流事業について	
	<p>5 月中旬～ : 「Beauty Therapy Ai YOKOHAMA」にてフェイシャル体験授業</p> <p>10 月中旬 : (エステ体験を通して、お客様の立場からエステティックを学ぶ)</p> <p>6 月 6 日 : ウエラカラー研修 (メーカー最大手のウエラインストラクターより最先端のカラー技術及び理論を学ぶ)</p> <p>6 月 10 日 : MUFE メイク展示授業 (MUFE トップメイクアップアーティスト AKIKO 氏から、作品発表会を見据えたアーティストティックなメイク技術を学ぶ)</p>

- 7月5日 : きくやプライマリーセッション
(きくや美粧堂が当校の為だけに企画運営するヘアショー。複数サロンの独自の技術やクリエイティビティを体感し最新のトレンドをつかむ)
- 10月12日 : ジェルネイル導入授業
(ジェルネイルについて基本知識を学び、検定アートや応用アートのデモンストレーションを実演)
- 10月17日 : SNS セミナー
(企業におけるSNS活用の重要性や目に留まり印象に残る写真の撮り方や基本的知識を学ぶ)
- 11月25日 : 京急百貨店職業人講話
(各業種の人事担当者から、業界の動向、仕事内容、求められる人物像等、就職活動に向けての意識づけを学ぶ)
- 12月7日 : ブライダルエステ
(ブライダルエステの基礎を学ぶ。お手入れ、注意点、必要性を理解する)
- 12月16日 : P O P セミナー
(商品 P O P を書くポイントや考え方を学び、実際に P O P を作成してみる)
- 12月16日 : アルゴテルム製品の解説とデモンストレーション
(製品の特長の理解。特殊マスクの目的・効果の理解。石膏パックの施術工程の理解)
- 12月19日 : 手作りコスメ
(手作りコスメの基本理解。注意点、製造工程の理解)
- 1月20、30日 : 内海シザーズ「刃物工学」授業
(製造過程から材質知識、手入れ方法などを学修)
- 1月31日～ : インターンシップ研修
2月3日 (きくや美粧堂様にご協力いただきサロンワークの実技や座学の実施)
2月8日 : ミルボンヘッドスパ研修
(ミルボンインストラクターによるヘッドスパ研修)
- 2月10日 : ウエラパーマ研修
(メーカー最大手のウエラインストラクターよりパーマ技術及び理論を学ぶ)
- コロナ前並みに外部の美容系ディーラーやサロンなどに来ていただくことができた。現場で働く方やインストラクターの方に指導してもらった機会ができ、学生からの評価も高かった

在籍者と卒業者について

在籍者数
(2022年5月1日時点)

- ・ ビューティースタylist科 : 73名 (1年 39名 2年 34名)
- ・ トータルビューティー科 : 75名 (1年 47名 2年 28名)

退学率

- ・ ビューティースタylist科 : 1年生 10%、2年生 0%
- ・ トータルビューティー科 : 1年生 14%、2年生 3.5%

※ 学校全体で 8.1%

※ 退学の主な理由は、異なる分野へ進学、進路変更など

<p>検定取得状況 〈ビューティースタylist科〉</p> <p>国家試験合格率 97.1% 神奈川合格率No.1</p> <p>1 名のみ学科・実技不合格。卒業後の現在美容室にてアルバイトに就きながら 2023 年夏に再受験予定。学校でもサポートしていく</p> <p>「ヘアケア/ヘッドスパ検定」「JNA ジェルネイル初級」「色彩活用パーソナルカラー 3 級」「ビジネス能力ジョブパス 3 級」 合格率 100%</p> <p>「ネイリスト JMEC 技能検定 3 級」 合格率 85%</p> <p>〈トータルビューティーカー科〉</p> <p>「AJESTHE 認定エステティシャン（上級）」「JNEC ネイリスト技能検定 2 級」「JNA ジェルネイル技能検定上級」「美肌検定」合格率 100%</p> <p>美肌検定においては初回受験で全員合格</p>
<p>就職状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ビューティースタylist科・トータルビューティーカー科ともに就職率 100%を達成 ● 約 20 社の企業に来校いただき、校内企業説明会を実施 多くの企業に接する機会を持つことで就職先の選択肢が広がった <p>〈ビューティースタylist科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職率 100% 卒業者に占める就職者の割合：100% ・ 早期に内定が決まる学生が多かった <p>〈トータルビューティーカー科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職率 100% 卒業者に占める就職者の割合：96.3% ・ 進学者 1 名は留学生。ビジネス関連の専門学校へ進学したのち美容業界への就職を目指す ・ エステティシャンの求人はコロナの影響は若干あったもののほぼ例年並み ・ 「脚痩せ」「小顔」などの特化型サロンが多かった ・ ビューティーカーアドバイザーの求人は少なかったものの、百貨店経由で 1 名就職することができた ・ オンライン面接会や面接等は減少傾向であった
<p>教育環境の充実化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サンスター様より空間除菌脱臭機 QAIS-air-01 3 台寄贈いただく アクリル製品を使用する授業では臭いの発生や臭い残りの悩みもあったが、導入後は臭いが大きく軽減され教育環境がより充実したものとなっている ・ オンライン面接対策として使用する専用ライトを購入 表情を明るく見せる効果など好感の持てる環境作りを図る ・ ノートパソコン 47 台をタブレット型へモデルチェンジ。現場では電子カルテの導入にともないタブレットの使用が増えているため時代に即したスキル修得を図る ・ シャンプー台 全 10 台を入替え（2023 年 5 月導入完了）

財務状況	
<ul style="list-style-type: none"> 資材や原料費、光熱費が高騰している状況でありながらも支出を工夫したことで良い財務状況となった。学校内に広報業務を請け負う会社を包括したことも良い効果をもたらした 18歳人口の減少にともない学校として何を提供していけるのかを模索し、選ばれ続ける学校、満足度の高い学校を目指し研究を重ねていきたい。そして新たな事業内容を検討し教育費に投資していき、学生の満足度向上を図る 	

3 基準項目ごとの学校関係者評価・意見等

令和4（2022）年度の自己点検評価報告をもとに、基準項目ごとに学校から説明がなされ、評価を行った

評価項目		評価
1	教育理念・目的・育成人材等	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育理念、目的、育成する人材像は明確で、全教員に周知・理解されている印象である
2	学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 全般的に順調であり、学園や学校内の各種規則・規程、マニュアル等について、学園内の教務会議を中心に策定、改訂等が継続的に実施されている 情報システムによる業務効率化も進んでおり、一定の成果を上げていると評価できる
3	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> 教育理念に沿った教育課程の編成や「教育ストーリー」の設定など、全般的に見て順調に推移していると判断できる 産学連携授業（高度美容技術）については、技術の向上のみならず実際の業務に有益な実践的なカリキュラム（セミナー実施等）に積極的に反映・実施されており、学生が多方面から美容に関する興味・関心を持てるように工夫している点は大いに評価に値する 授業や学習の定期的な観察を行い、さらなる技術向上を目指してほしい
4	学修成果	<ul style="list-style-type: none"> 各種資格取得状況については、上位資格や新しい資格にも積極的にチャレンジする学生が増えているので、今後も継続して行くことを期待している 就職率は担任、本部学生課（就職担当）、企業との連携により高い数値を維持しており、手厚いサポートがなされていることがうかがえる。しかしながら美容部員など求人数が減少している職種もあるため、一層寄り添ったサポートが必要である 卒業生が企業を紹介することも増えてきていることから「卒業後も繋がれる学校づくり」がキーワードになってくる。卒業後は卒業生の状況が時間の経過とともに把握しづらくなるため、卒業生の状況・情報把握ができるシステムを構築し、在校生へ向けて、卒業後に修得した技術や知識を発表してもらう交流会などの運

		<p>営を積極的に行っていきたい</p>
5	学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生や保護者に対しては、常に丁寧に対応しているという印象が強い。保護者会等でも問題の共有を図り、「ともに学生を成長させていく」姿勢に心強さを感じる ・ 卒業生についても個々の担任がコミュニケーションをとる工夫をしたことにより以前よりも学校を訪れる機会が増え、就職の紹介もあることから、学園全体で校友会の規定を大幅改編し、校友会組織のより一層の活用を目指し、卒業生と在校生の連携システムの構築を進めていく
6	教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設設備は教育上の必要性に十分に対応できていると評価できる ・ 専門図書が不足が課題。必要参考図書は計画的な購入を検討していく
7	学生の受け入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生募集活動は、協定等を遵守し、公正に行われていると判断する ・ ビューティストylist科は募集定員を確保し、学校と入試広報課との連携による学生募集の努力の成果がでていると感じる
8	教育内部質保証システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令、規則、規程等を遵守し、適正な運営を行っているという評価できる ・ 個人情報保護や肖像権、著作権の取り扱いについても適切に情報を収集し対応していることがうかがえる ・ 学生や教員に対する啓蒙活動も定期的に行うことができています
9	財務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の質を担保しながら支出を抑える工夫をしたことは大いに評価できる ・ 現段階では財務基盤は安定していると判断できる
10	社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校は地域に根差したものでなければならず、地域貢献・社会貢献は学校が担う社会的な使命とも言える。これは岩谷学園の建学の精神に相通ずるものである。コロナ感染拡大によりボランティア活動が困難な状況であったが、単発的（短時間）なボランティア活動や参加人数を制限しながら活動が可能な限り計画立案及び支援していく
11	国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本校で受入れている留学生は少なく、また学んだことを活かす就業が難しいこともあり、学修の成果が評価される取り組みについては今後も研究が必要である ・ コロナ禍による規制がなくなり美容業界でもインバウンドの需要がますます増加していくと思われるため、岩谷学園で受入れている留学生との交流の場を設けるな

		ど異文化に触れることで、グローバルな視点・感覚を持つ社会人の育成も目指してほしい
--	--	--

総評

学校関係者評価委員会として、岩谷学園アーティスティック B 横浜美容専門学校の学校評価は概ね「合格」と判断・評価する。

入学から就職へ向けて関係部署が連携して一貫した指導を行っていること、教育ストーリーの構築・見直し・更新を常に実施している様子が明確に示されていることは高く評価できる。連携企業など外部からの情報を積極的に取り入れ、カリキュラムへの反映の模索も学校全体で取り組むことで、教育目標や理念の個々人への定着が実現していると思われる。

学生一人一人が明確な目標をもって学生生活を送れるよう、また、就労後も継続して社会貢献していけるよう、支援を継続してほしい。

教育信条である「職業人教育」を進めるにあたり、ボランティア等地域貢献・社会貢献体験も重要と考える。どのような形で実現できるか、更に研究を重ねて形にしてほしい。そして、社会のニーズを的確にとらえ、社会が求める人材を育成する専門学校としての使命を果たしていかれることを期待する。